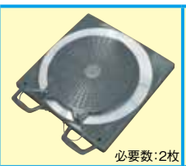
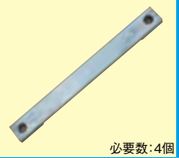
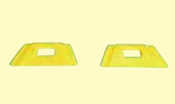
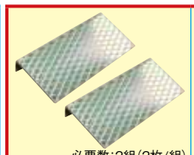
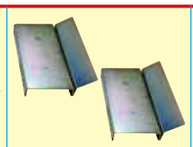
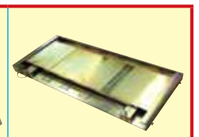
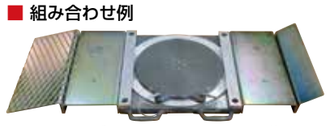
HOFMANN

OPTION

	 必要数:2枚	
GL-STDC-XD	932501210	GL-MBLFT680XD
スタンダードクランプキット（※2）	メカニカルターンテーブル（アロイ）（※1）	GL-680XD-LFT用 モバイルキット
	 必要数:4個	
GL-AWC-2	1683391224	GL-BP
アルミホイールクランプ（※2）	フィラーバー（アロイターンテーブル専用）（※1）	GL用 ベースプレートキット

 必要数:2組（2枚/組）	 必要数:1組（2枚/組）	 必要数:2個
932401016	1690701052	932401011
乗込み台（※3）	ターンテーブル用ランプキット（※3）	スライディングプレート ロング（※3）

■ 組み合わせ例



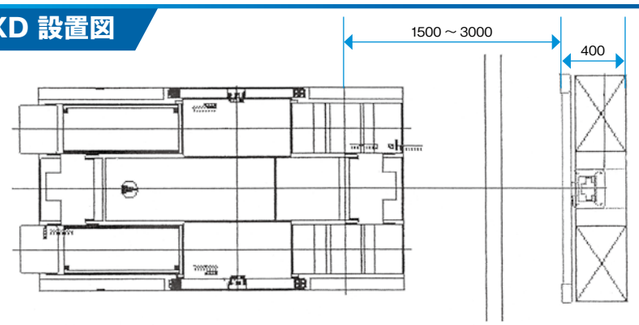
・メカニカルターンテーブル
・フィラーバー
・乗込み台
・ターンテーブル用ランプキット

※1:ターンテーブルとフィラーバーはセットで使用します。標準構成品には含まれていません。
※2:アルミホイールクランプはスタンダードクランプをアルミホイールに使用する場合にセットで使用します。
※3:テスターを床置きで使用するときに必要です。
※ ▬ 赤枠は床上測定で必要なオプションになります。

GL-AWC-2 使用例

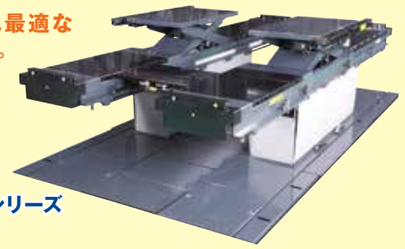
※スタンダードクランプだけで使用するとホイールに金属製爪が接触します。
それを避ける為に、アルミホイールクランプを併用します。

GL-680XD 設置図



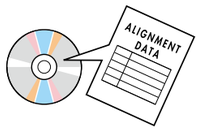
ホイールアライメント測定用サービス機器のご紹介

アライメント測定調整に最適な ワークステージリフトです。



4輪アライメント計測用
フラットワークステージXシリーズ
型式：WSX-F240シリーズ

4t対応
アライメント仕様
ワークステージリフトと
合わせた作業例



アライメント基準値データ
毎年3月頃までに発表された基準値データをCDにて供給致します。

新型車アライメントデータサポート
「アライメント基準値データ」または「アライメントデータブック（国産車用）」をお買い上げの場合、次回のデータ発売までの期間、インターネットで新型車のデータ供給をお受け頂けます。
⚠ 注意:一部新型車両のデータ供給が間合わない場合があります。

⚠ **安全に関するご注意**
・ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ISO9001・ISO14001
自動車整備用機器・検査用機器の設計・開発・販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条にお客様とのきずなを大切に。
お客様満足度の向上を図ってまいります。
ISO14001:本社

BANZAI 株式会社 バンザイ

本　　社	〒105-8580	港区芝2-31-19 ☎03(3769)6880
営　業　部	〒105-8580	港区芝2-31-19 ☎03(3769)6881
海外販売部	〒108-0023	港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8階 ☎03(3769)6894
札幌支店	〒063-0801	札幌市西区24軒1条7-3-10 ☎011(621)4171
仙台支店	〒983-0005	仙台市宮城野区福室2-8-21 ☎022(258)0221
関東支店	〒364-0011	埼玉県北本市朝日4-553 ☎048(590)3700
東京支店	〒108-0023	港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8階 ☎03(3769)6840
名古屋支店	〒464-0852	名古屋市千種区青柳町6-26 ☎052(732)2600
大阪支店	〒577-0012	東大阪市長田東3-3-11 ☎06(6744)1041
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音2-7-10 ☎082(233)3201
福岡支店	〒812-0893	福岡市博多区那珂5-3-15 ☎092(411)1261

●営業所
旭川・青森・秋田・盛岡・郡山・山形
新潟・長野・前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩・北陸・三重
京都・神戸・高松
●出張所
帯広・函館・富山・松山・岡山
山陰・山口・長崎・大分・熊本

●販売店

https://www.banzai.co.jp
E-mail:eigyo@banzai.co.jp

※ 改良のため予告なく型式および仕様を変更することがあります。
※ 本カタログの商品写真は印刷のため、実際の商品の色と異なる場合があります。

2011-20BP97-XA10635

1920▶2020
100年の信頼を、未来への力に
BANZAI®

3Dアライメントテスター

geoliner

ジオライナー GL-680XD

トータル診断に最適な、
多彩な測定・調整モードを搭載！

ターゲット変更により作業性アップ！

場所を選ばない設置方法！

HOFMANN®

エーミング作業に向けたアライメントサービス

近年、横滑り防止装置を始めとする車両の安全制御は、車線逸脱防止機能や前方車両追突防止機能等が追加され、先進安全車両（ＡＳＶ）として進化をしております。
この車線逸脱防止機能や前方車両追突防止機能に使用されている各種センサーは、一部の外国車を除きヘッドライトと同様に車体の中心を基準に調整を行い、前方の車両や車線を認識し安全に走行出来るよう車両を制御しています。
しかしこの先進安全車両も、車体の中心を基準として調整を行っているので、事故や車両の経年劣化によりホイールアライメントが狂って車両がカニ走り（ドッグラン）をしてしまうと、車体の中心と車両の進行方向が狂ってしまい、センサーが車両の進行方向の対象物を検出出来なくなり、制御の誤動作や事故発生の原因となります。
この制御の誤動作や事故発生の原因を排除する為には、車体の中心と車両の進行方向を合わせる必要が有り、車両の進行方向を調整するホイールアライメント測定・調整は先進安全車両での必須の作業となります。

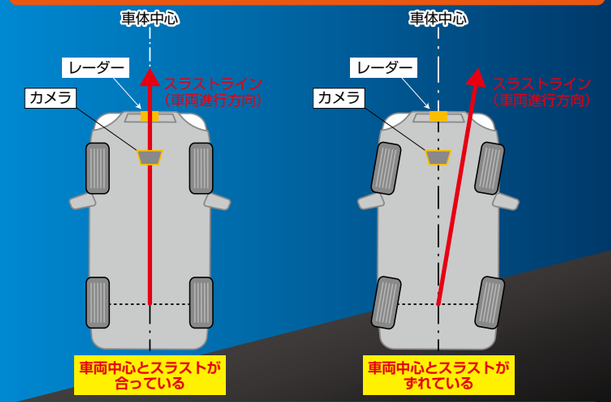
ホイールアライメントが狂っていると

ホイールアライメントが狂っている車両の場合、車両制御が正常でも車両の向きと進行方向が異なる為、制御がおかしくなる可能性があります。

最近の車両は、エンジンやミッション・ＡＢＳの制御だけではなく、車両の進行方向や動作（直進走行か曲がっているか）・場所（平坦か坂道か）タイヤのスリップの有無・ハンドル操作等を判断して走行しています。

車両のホイールアライメントが狂っていると、車両が走行状態を正確に判断出来なくなり走行不安定や不具合が発生する可能性があります。

ボディーアライメントやホイールアライメントは、なぜ、重要なのか?



アライメントが狂っており、スラストと車体中心がずれている場合は、レーダー等が正常に機能しない可能性がある。
（わずかなズレがセンサー検知距離80～100m先では大きなズレになる。）

アライメント診断がさらに高精度に進化します

- ○ トータル診断に最適な、多彩な測定・調整モードを搭載！
- ○ ターゲット変更により作業性アップ！
- ○ 場所を選ばない設置方法！

実際の素早い作業と、モバイルキットの動きをこちらから確認出来ます。
https://www.banzai.co.jp/QR_GL-680XD-LFT.html

GL-680XD 仕様

型　式		GL-680XD-LFT	GL-680XD-PL34
対象車種		軽四輪～普通乗用車	
適応タイヤ外径		490㎜～990㎜	
ターンテーブル耐荷重		1000kg	
本体寸法（W×D×H）	キャビネット	1140×830×1570㎜	
	カメラユニット	2800×750×2800㎜	2800×400×1100～1610㎜
本体重量	キャビネット	約150kg（ターゲット・付属品含む）	
	カメラユニット	約180kg	約250kg
電　源	キャビネット	AC100V　50/60Hz 0.5kw	
PC関係	OS	Windows	
	モニタ	21.5インチワイドカラー液晶	
	プリンタ	カラーインクジェットプリンタ	

※：使用するリフトによって、一部測定出来ない車種があります。

最先端のアライメント診断テクノロジー

ターゲットの取り付け

ロールバック測定

切れ角測定

測定時間 約5分で終了のスピード測定

スピーディに扱いやすく

- □ 測定時間は約５分のスピード測定
- □ トー・キャンバーのみのクイック測定なら、車両を前後に合計 30° 動かすだけ
- □ ターゲットはタイヤクランプによる簡単装着
- □ カメラユニットの昇降は、キーボードで操作可能（LFT）（PL31・34 は有線リモコン）

POINT 光学式アライメントテスター

ジオライナー６８０ＸＤは光学式アライメントテスターなので、タイヤに取付けたターゲット（反射板）をカメラユニットで計測してアライメント測定をします。
タイヤの面振れやクランプ取付け誤差を補正するランナウト補正は、車両を前後に動かして行うローリング補正になり、車輌移動距離は前後に合計３０°と非常に短い距離で補正が完了します。

POINT カメラユニット

カメラユニットは左右が連結され車輌前方に設置しますが、設置位置がフロントターゲットから１．５ｍ～と省スペースの為、カメラユニットが工場設備の邪魔になり難くなりました。

カメラブーム位置を自由に上下出来ます。

POINT 豊富な測定・調整モードで不具合診断をサポート

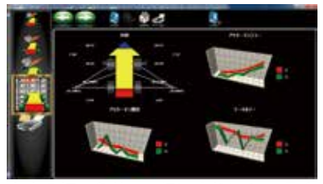
ＧＬ－６８０ＸＤは、車輌の走行不安定等の不具合診断では重要でありながら、通常のアライメントテスターでは測定が行えないキングピンオフセットやアッカーマン変化等の測定が行え、不具合診断に非常に効果的です。

通常測定で8センサー式と同等の測定項目があります。

■ ローリングランナウト測定

測定時に、四輪の回転誤差を診断し、走行への影響を判断出来ます。

■ プロアッカーマン測定



左右の切れ角差を子細に分析して、不具合の発見をサポートします。

■ スクラブ半径演算

スクラブ半径（キングピンオフセット）や、キャスタートレールを演算で数値化し、不具合発見をサポートします。

■ インクリノメーター接続

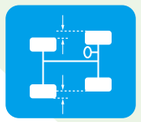
ロメス社の角度計と連動出来ます。カーメーカー指定の車高情報の入力が簡単です。

■ トーカーブ測定

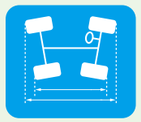
カーメーカー指定の車高変化に伴うトー値の変化量を測定します。

■ 電子車高測定

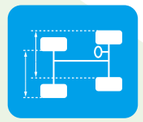
標準付属の車高ターゲットを使用して、スケール等を使用しないで車高測定が出来ます。



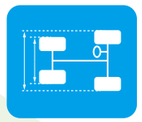
サイドオフセット
左前輪･左後輪および右前輪･右後輪各々の左右のずれをいいます。



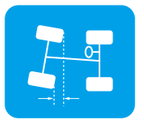
ホイールベース左右差
右ホイールベースと左ホイールベースの差をいいます。



アクスルオフセット
フロントアクスルとリヤアクスルの左右のずれをいいます。



トレッド幅差
前トレッドと後トレッドの差をいいます。

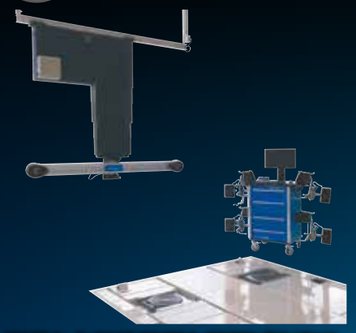


リヤホイールセットバック
スラストラインに対して後輪左右タイヤの前後のずれをいいます。

ジオライナー680XDの多彩な使用環境

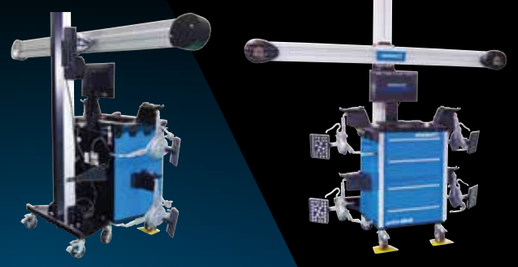
測定作業は、リフトを上昇させる必要はありません。床面ですぐに測定が出来ます。
調整をする時に、リフトを測定レベルに上昇させて作業を行えます。
（ご使用のリフト高さに合わせて、カメラブームの高さを調整出来ます。）

POINT 吊下げ仕様



天井から昇降装置を吊下げる事で、
カメラ支柱をなくす事も可能です。

POINT モバイル式仕様



GL-680XD-LFTに、オプションのモビリティーキットを組み合わせて、カメラ支柱とキャビネットを一体移動型にする事が出来ます。
エイミング作業時のリフト前方の作業スペース確保や、設置工事を省略出来ます。
別設定の追加ベースパッドをセットすれば複数の作業場所を指定出来ます。
（※ユニットを設置する土間の水平は必要です）

クランプ固定時ホイールにキズを付けません

POINT タイヤクランプ

クランプ可能タイヤ外径
490㎜~990㎜

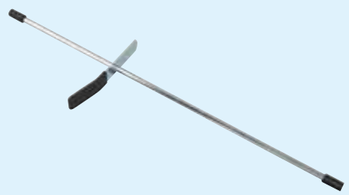
クランプの3本の爪によりタイヤを抱きかかえるようにホイールを固定する為、ホイールに一切接触せずにクランプ・ターゲットを固定するので、ホイール径に左右されずまたホイールに一切キズを付けません。
またタイヤクランプの爪部は伸縮式になっているので、軽自動車~ＲＶまでクランプの部品を交換する事無くクランプが行えます。

ジオライナー680XDは、多彩な測定結果を選択してお客様への整備提案をお手伝いします。

標準構成品

本　体
（PCモジュールキャビネット・液晶モニター・カラーインクジェットプリンター）

カメラユニット+固定装置
カメラユニット上下昇降式（LFT）
カメラユニット上下昇降式天井吊下げ装置　設置高さ3.4m（PL34）



数量：1
ブレーキディプレッサー

数量：1
ステアリングホルダー

数量：4
タイヤクランプ

数量：1
車高ターゲット

数量：2個1セット
車輪止め

数量：1
操作リモコン

※GL-680XDシリーズにターンテーブル及びフィラーバーは付属しておりません。
ターンテーブル及びフィラーバーが必要な場合は、オプションの【メカニカルターンテーブル（932501210）／フィラーバー（1683391224）】のご購入をお願い致します。